

▶▶▶ **チームティーチングの進め方****外国語学習のねらい**

- 相手を理解しようという気持ちを育てる
- 自分の言いたいことを言葉で表現しようとする態度を養う
- 自分の力で対人関係を円滑に運ぶ

チームティーチングの種類**NET + HRT****JET + HRT****NET + JET + HRT****NET** Native English Teacher (外国人講師)**JET** Japanese English Teacher (英語専科日本人講師)**HRT** Homeroom Teacher (学級担任)**チームパートナーの役割**

- モデルを示す
- クラスの代表となる
- 理解の促進、フォロー
- クラスコントロール(秩序の維持)

ベーシックルール

- 英語は英語で体験させ、理解させる
→ アクティビティのルール、会話のやり取りを教える時には、まずモデルの示し方を考える
- 児童の類推力を伸ばす
→ 「こんなことを言っているのかな?」と考えをめぐらす機会を与える

効果的な母語の使用

- 児童の類推を肯定し「安心」を与える母語
→ 児童「好きかどうか聞いてるの?」
→ 邦人講師「すごい!よくわかったね」
- クラスコントロールのために使われる母語
→ 「それをしたら先生に失礼ですよ」
→ 「英語に関係のないものをしまいなさい」

効果的でない母語の使用

- 逐次通訳をしてしまうこと
→ 「誰と話しをしているのか」がわからなくなってしまう
→ 英語を聞いて理解しようとする態度が育たない

邦人講師はコミュニケーションに必要な態度を示すモデルである

- 態度を示す
 - ▶ 知っている単語だけで話そうとする態度 ----- × 文法が間違っていたら恥ずかしい
 - ▶ 話している内容を理解しようとする態度 ----- × 何を言っているのかわからない
 - ▶ 笑顔で人の話を聞く態度 ----- × つまらない。関係ない

コミュニケーションをする時の小さな努力

- 初対面の人と合った時には、コミュニケーションしようという小さな努力が必要です。
何か共通の話題や興味を発見し、共有している時間を意味のあるものにしようとする態度こそがコミュニケーションの第一歩である。
- 邦人講師は笑顔・身ぶり・手ぶりを駆使し、知っている単語をつなぎあわせて自分の気持ちを伝え、相手を理解しようとする意欲を育てる授業を目指す。